

支援チーム対象自治体の取組概要 (各自治体 1 枚版)

生涯活躍のまちの取組事例（北海道函館市（はこだてし））

◆コンセプト：「自分らしく暮らし互いに支え合う地域」

個々の多様性に合わせて、お互いを理解し、支え合い、そして最期まで安心して生活できる地域づくり

- ＜特徴＞
- ・住まい・医療・介護などのサービスを一体的に提供
 - ・年齢・障がいに関係なく誰もが安心して暮らせるまち
 - ・認め合い、支え合い、みんなが活躍できるまち

福祉コミュニティエリア（イメージ図）



左図：多世代交流センター、右図：地域福祉総合相談窓口



（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 生涯学習・社会参加の促進
- 地域の担い手の発掘・育成
- 多世代交流センターの設置

【進捗状況】

- 地域住民へのニーズ調査（H29.6～）
- 住民を巻き込んだワークショップを開催
- 福祉コミュニティエリア内に、多世代交流センターを建設、運営開始（H30.3～）

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 介護施設等の整備
- 宅地等の整備

【進捗状況】

- 地域密着型特養、認知症グループホーム（看護小規模多機能型居宅介護併設）の運営開始（H30.3～）
- サ高住、認知症グループホーム、広域型特養の運営開始予定（H30.6～）
- 福祉コミュニティエリア内の宅地を一部分譲開始（H29.5～）

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの構築

【進捗状況】

- 医療と介護連携や生活支援・介護予防の推進の一体的な運営体制構築に向けた協議
- 地域福祉の総合相談窓口の開設（H30.3～）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 移住者プロモーション事業の実施

【進捗状況】

- ふるさと回帰支援センターにてセミナーを開催（H29.11.26）
- 福祉コミュニティエリアの魅力等を伝える「いきいきトークカフェ」を札幌市にて開催（H30.3.17）

基礎データ

- ・人口：260,174人（H30.3月時点）
- ・H26.2 福祉コミュニティエリアに係る基本的な考え方とりまとめ、H27.3 福祉コミュニティエリア整備基本構想策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定、H30.2「函館市生涯活躍のまち形成事業計画」を作成
- ・地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）を活用し、多世代交流センター建設、センターの効果促進のためのニーズ調査等を実施。
- ・地域再生推進法人：医療法人社団善智寿会（H28.11指定）福祉コミュニティエリアの整備を実施。

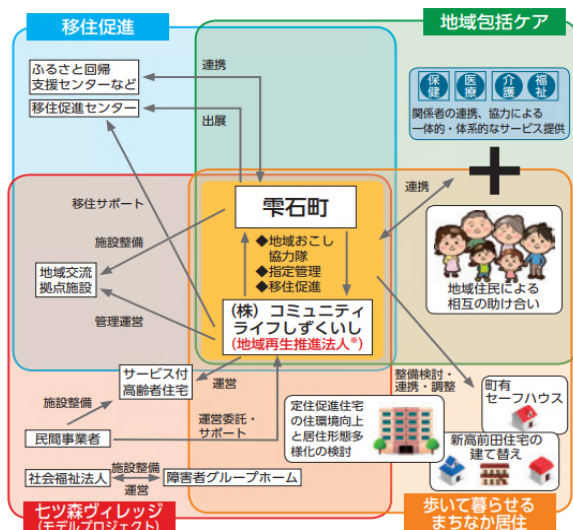


生涯活躍のまちの取組事例（岩手県 雫石町（しずくいしちょう））

◆コンセプト：「誰もが住みよいまちづくり」

本町が策定する生涯活躍のまち構想に基づく、まちなかと町有地を活用したモデルプロジェクトエリア「七ツ森ヴィレッジ」の連携による、豊かな自然環境と共に暮らす環境整備をベースとした定住促進活動の展開により人口の安定化を目指す。

- ＜特徴＞
- ・町有地を活用した「七ツ森ヴィレッジ」の構築
 - ・歩いて暮らせるまちなか居住の推進
 - ・地域包括ケアシステムの構築



定住促進住宅（まちなか）



七ツ森地域交流センター



（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 町立公民館の利用用途の拡大や、地域運営組織の確立による地域住民活動や生涯学習活動の支援。
- 移住者に向けた就業情報のワンストップ窓口設置。

【進捗状況】

- 旧町村単位で住民が主体となり実施する「地域づくり会議」が作成した計画に基づき事業実施。
- 町立公民館での各種講座を実施。
- 移住希望段階からの就労支援を「(株)コミュニティライフしずくいし」が実施。

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- サ高住等整備による七ツ森ヴィレッジでの多世代コミュニティの創出。
- 町営住宅の建て替えと並行した「歩いて日々の暮らしを完結できる住環境」の整備。

【進捗状況】

- 「七ツ森地域交流センター」の整備（H30.3完成、H30.10本格稼働予定）。
- 住環境に関する多様なニーズを町営住宅建て替え計画（H31～）に反映するための調査・検討の実施。

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 医療・介護・福祉等の多様な職種の連携による雫石版地域包括ケアシステムの構築。

【進捗状況】

- 医療・介護・福祉等の多様な職種の意見や町民ニーズを反映した地域包括ケアシステム行動計画をH30.3に策定、H30.4からシステム構築の取組を開始。

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 「七ツ森ヴィレッジ」へのお試し居住機能の整備。
- 移住体験ツアーなどの移住促進事業の実施。
- (株)コミュニティライフしずくいしによるワンストップ移住相談サービスの提供。

【進捗状況】

- 定住促進住宅でのお試し居住を開始。（H28.7）
- 移住活動への交通費一部助成。
- 首都圏（H27.10）と町の双方に移住相談窓口とPR拠点を設置。

・人口：16,865人（H30.4月時点）

基礎データ

- ・H29.1「雫石町生涯活躍のまち基本構想」策定、H29.7「雫石町生涯活躍のまち基本計画」を策定、H29.11 地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業関係)認定、H30.3「雫石町生涯活躍のまち形成事業計画」を作成
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事業分）、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金（H28.第2回）、地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）を活用し、事業計画作成、ニーズ調査、移住体験ツアー、定住促進住宅調査等を実施。
- ・地域再生推進法人：(株)コミュニティライフしずくいし（H28.1 設立・H29.1 指定） まちの将来像の柱として掲げる5つのテーマ（環境、教育、保健・福祉、産業振興、安心安全）による「コミュニティライフ」推進のためのプロデュース業務を行う。



生涯活躍のまちの取組事例（茨城県 阿見町（あみまち））

◆コンセプト：「人と自然が織りなす首都圏近接型の生涯活躍のまち」

都心から1時間でアクセス可能な自然豊かな田園都市という特徴を活かし、東京圏のアクティブシニアの移住を促進することによって、社会資源と自然環境が調和した、社会参加型の生涯活躍のまち「あみプラチナタウン」を形成する。

- ＜特徴＞
- 1 新たな高齢者雇用の創出による自立型のプラチナタウン
 - 2 高齢者から子育て世代、また健常者・身障者まで豊かに暮らせる多様・多世代対応のフラットタウン



あみプラチナタウン事業構想図



茨城大学阿見キャンパス



茨城県立医療大学



阿見東部工業団地

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 高齢者の地元企業への再就職
- 多様な生涯活躍プログラムの提供及びワンストップ体制の構築
- 多様な世代・属性の方々が共生できるコミュニティの構築

【進捗状況】

- 就労支援及び生涯活躍プログラム（農業体験講座、介護予防教室等）提供のため、中高年齢者のスキル分析と分類・提供サービスを検討中
- 阿見町各工業団地事業者に対しての高齢者雇用実績、ニーズのアンケート調査実施（H29.7）

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 自立型サービス付き高齢者向け住宅等の整備
- コミュニティ形成の核となる商業施設の確保

【進捗状況】

- お試し居住やモデルルームの役割を担うデモ棟を設計中
- サ高住建設予定地及び事業者が決定し、事業性を検証中（H31年度中より段階的に事業開始予定）

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域（住民）・医療・介護を結ぶネットワークの構築
- 在宅医療～中核病院との地域連携
- 介護サービスと生活支援サービスとの連携によるきめ細かな支援

【進捗状況】

- ICT技術を活用した見守りサービスシステムの構築を検討中
- 在宅医療・介護連携の仕組みを構築中（H30.2 町民向けのシンポジウム開催）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

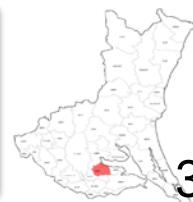
- お試し居住、移住プロモーション事業の実施
- 東京都区との連携関係の形成
- 東京都内における町情報拠点の設置

【進捗状況】

- 東京都内のシンポジウムへの参加及び町魅力の発信（H28.6）
- 情報発信の施策及びツールを検討中

基礎データ

- ・人口：47,453人（H30.4月時点）
 - ・H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
 - ・地方再生戦略交付金（H27.6）、地方創生加速化交付金を活用し、基本計画策定、事業関係者の組織化、お試し移住などを実施。
 - ・地域再生推進法人：一般社団法人東京霞ヶ浦プラチナプロジェクト（H28.12指定）
- 生涯活躍のまち「あみプラチナタウン事業」を推進



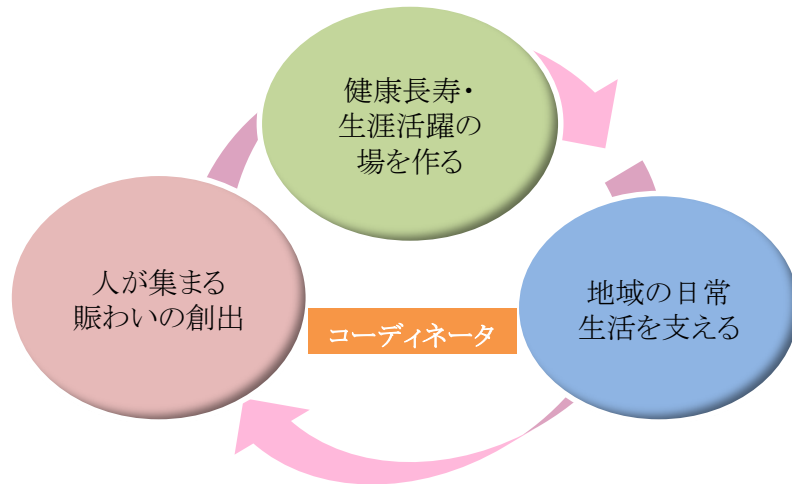
生涯活躍のまちの取組事例（千葉県匝瑳市（そうさし））

◆コンセプト：「あらゆる人々を地域・多世代交流・協働で支えるまち」

子どもから高齢者まで、年齢や健康状態、障害の有無に関わらず、あらゆる人々が交流し、協働することにより、これらの人々を地域全体で支えるまちをつくる

- ＜特徴＞
- ・健康を増進し、また、趣味・ボランティア等の生きがいや、地域との交流など、人との関わりを促進する。
 - ・地域の人々の日常生活を支える。

生涯活躍のまちのイメージ



病院



認定こども園（H30.4開設）



農産物販売所（イメージ）

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 生涯学習拠点施設の整備
- 就労支援窓口設置 等

【進捗状況】

- 生涯学習拠点施設建設地が決定（H28.4）
- 地域再生推進法人や関係団体が飯倉駅前地区まちづくり協議会を設置し、活躍の場の創出等について協議（H28.5～）。

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- サービス付き高齢者向け住宅の整備等

【進捗状況】

- サ高住建設地及び事業者が決定（H28.4）（H32年度途中から供用開始予定）。

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 訪問看護ステーション(サービス付き高齢者向け住宅内)・サテライトクリニック等の整備
- 地域包括ケアシステムの構築

【進捗状況】

- 訪問看護ステーション(サービス付き高齢者向け住宅内)・サテライトクリニック等の建設地及び事業者が決定（H28.4）（H32年度途中から供用開始予定）。
- 匝瑳市の庁内組織として地域包括ケアシステム推進本部を設置（H29.4）。

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- お試し居住(サービス付き高齢者向け住宅内)等の実施

【進捗状況】

- お試し居住(サ高住内)の建設地及び事業者が決定（H28.4）（H32年度途中から供用開始予定）。

基礎データ

- ・人口：36,969人（H30.4月時点）
- ・H28.3 匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定、H29.6 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H29.第1回）を活用し、協議会の開催、住民説明会などを実施。
- ・地域再生推進法人：社会福祉法人九十九里ホーム（H29.7指定） 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業の推進



生涯活躍のまちの取組事例（新潟県 南魚沼市（みなみうおぬまし））

◆コンセプト：「健康－予防医療の先進的なコミュニティ」

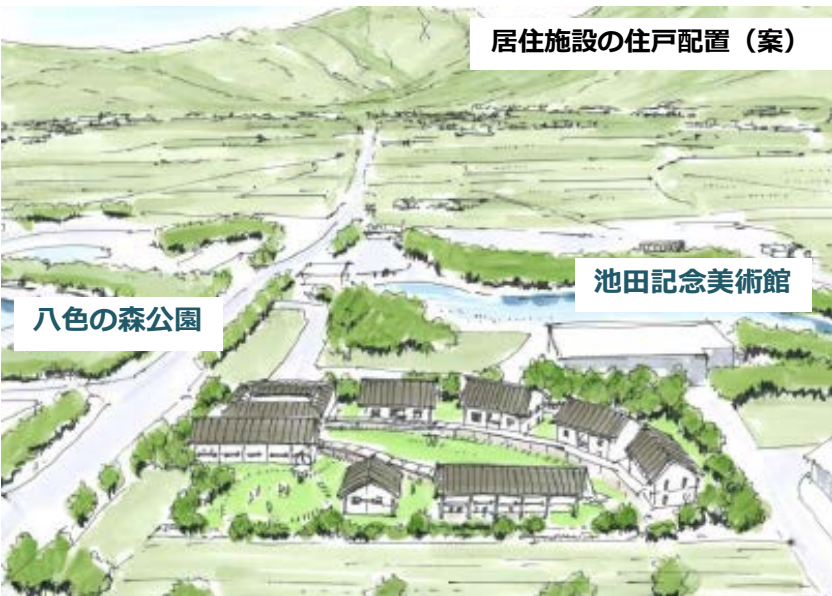
この地域の特性や強みを生かした事業・サービス展開により、移住者を取り込み、その移住者が、地域に不足するリソースを提供することで、新たな産業や雇用が創出されて、地域サービスが向上することによる好循環を生み出すことを目指す。

- ＜特徴＞
- ・充実した生活インフラ（新幹線駅、高速IC、基幹病院）
 - ・特徴的な大学（国際大学、北里大学保健衛生専門学院）
 - ・自然（雪）の育み（食、衣、文化、交流）

居住施設の住戸配置（案）

八色の森公園

池田記念美術館



魚沼基幹病院



国際大学



構想地周辺（八色の森公園）

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- ワンストップ就労支援窓口設置
- 国際大学と連携した公開講座実施
- MMDOと連携した公開講座実施

【進捗状況】

- 国際大学・南魚沼市地域産業支援プログラム（ICOVE）が創業支援セミナー等を実施中（H27.4～）。
- MMDO・GITP（グローバルITパーク）企業等と地域セミナー、次世代リーダーセミナーを実施（H29.4～）。

（２）移住者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 居住施設の整備
- 戸建中古住宅の改修支援等

【進捗状況】

- 居住施設建設候補地が概ね決定（左図）。
- 事業予定者の決定に向けて事業性を検正中（H30年度中に建設開始予定）。

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの構築

【進捗状況】

- 地域包括ケア連絡協議会を設置（H28）
- 地域医療連携推進協議会の設置を準備中
- 魚沼地域医療連携ネットワークが圏域内医療サポート事業を提供中。
- 医療と住民をつなぐ地域医療コーディネータを配置。（H29.6～）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

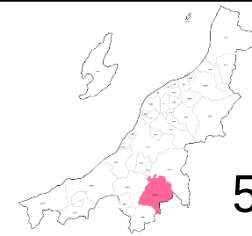
【主な取組内容】

- 移住定住セミナー、お試し居住、移住プロモーション事業の実施

【進捗状況】

- 起業、創業ニーズに配慮した個別体制・窓口の設置、推進
- お試し居住を実施中。（H30.2～）
- 移住者向けライフプランイメージ動画を作成し、移住促進PRを実施中。（H29.12～）

- ・人口：57,252人（H30.4月時点）
- ・H27.7 南魚沼版CCRC構想を策定、H27.10 地方版総合戦略を策定、H29.6 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生先行型交付金（基礎交付分・先駆的事业分）・地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H28.第2回）を活用し、移住定住セミナーの開催、お試し居住、地域再生推進法人設立などを実施。
- ・南魚沼版 CCRC推進協議会委員の所属企業や市を含む 8 社が「（一社）南魚沼市まちづくり推進機構（MMDO）」を設立。地域再生推進法人にも指定済（H29.4）。



◆コンセプト：「タウン型生涯活躍のまち」

市街地の空き家や空き地を活用し、多世代交流施設やサービス付高齢者住宅などを配置。青年海外協力協会の人材を活用し、地域課題を自ら解決できる住民自治機能の形成など、住民によるまちづくりを通じて多世代の移住者等の受入環境づくりを目指す。

- ＜特徴＞
- ・ 空き家空き地などの既存ストック活用
 - ・ 国際的感性を持つ青年海外協力協会の人材活用
 - ・ 住民自治機能の形成と移住者等受入意識の醸成



（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- カブーレ大学（講座）の実施
- 就労の場の創出
- 地域交流拠点を核とした住民自治活動への参画促進

【進捗状況】

- ウエルネス教室、国際理解講座、自然体験教室などを実施中
- 配食事業、市民農園などでの障害者等の就労の場を確保
- 交流拠点施設オープン前後の統計データ調査と新たな魅力づくり事業の提案

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- サービス付き高齢者向け住宅の整備（就労環境、地域交流機能付）
- 多様な人を集めるためのグループホーム、短期入所施設、子育て支援施設の整備

【進捗状況】

- サービス付き高齢者向け住宅/ 6戸（H29.11より供用開始）
- 追加1棟調整中
- グループホーム、ショートステイ開設済
- 子育て支援施設（H30.4より供用開始）

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 健康促進施設（ウエルネス）の整備
- 交流拠点施設を核とした見守り体制整備
- 地域包括ケア体制との連携

【進捗状況】

- 健康促進施設（ウエルネス）（H30.4より供用開始）
- 交流拠点施設（H30.4より供用開始）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 移住促進住宅（H28.4整備）の入居者募集
- 起業新規出店支援事業の実施
- サ高住の入居者募集の広報

【進捗状況】

- ちよい住体験、入居者募集、起業促進のための出向宣伝などを実施中

- ・ 人口：27,322人（H30.4月時点）
- ・ H27.10月 地方版総合戦略を策定
- ・ 地方創生先行型交付金（先駆的事業分）・ 地方創生加速化交付金を活用し、移住者募集の広報、事業計画策定、CCRCプログラム構築などを実施。交流拠点施設の整備には都市再構築戦略事業の交付金を、ウエルネス、ショートステイ、子育て支援施設の整備には空き家再生等推進事業の交付金をそれぞれ活用。



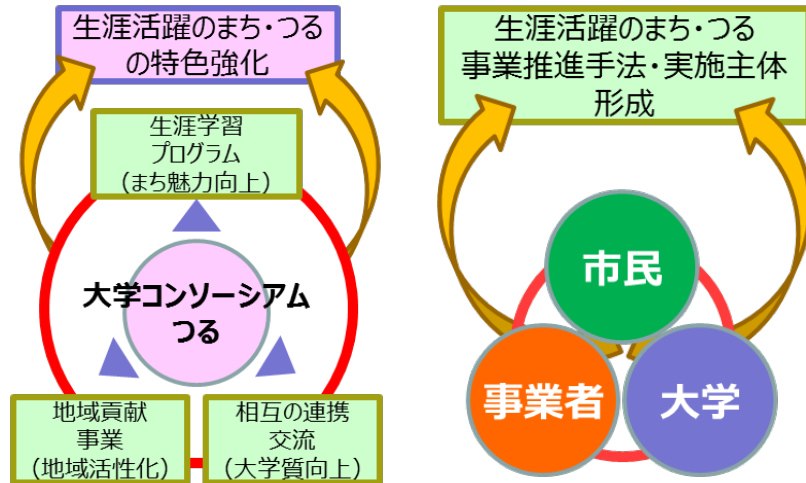
◆コンセプト：大学連携型「生涯活躍のまちつる」の実現

- ①市内に3つの大学が立地するという強みを活かし、「大学コンソーシアムつる」を組成
- ②大学相互の連携を深めるとともに、市民向けに「目標指向型」の「生涯学習プログラム」を提供
- ③都留文科大学卒業生等をターゲットとし、住み替え支援（二地域居住等含む）を展開

大学コンソーシアムつる 都留市CCRC構想研究会

都留文科大学、健康科学大学看護学部、山梨県立産業技術短期大学の3校が連携。

県内外より介護福祉関連、建設関連、生活関連等の事業者が参加し、これまでに計12回開催。



雇用促進住宅（改修前）と下谷交流センター



市民向け講座「つる白熱教室」

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 生涯学習プログラムの情報一元化、既存プログラムの見直し
- 高齢者市民大学「鶴寿大学」の充実
- 大学が市民向けに主催する市民公開講座の拡充
- シルバー産業の構築による就労機会の創出

【進捗状況】

- 「大学コンソーシアムつる」において、市内3大学の特色を生かした「目標指向型」のプログラムを開発中。H30年度内の運用開始を予定
- 庁内に「地域連携・生涯学習プロジェクト・チーム」を立ち上げ、生涯学習プログラムの見直しを実施

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 市内の旧雇用促進住宅を購入し、サ高住に改修（単独型居住プロジェクト）
- 市有地にサ高住等複数施設を複合的に整備（複合型居住プロジェクト）
- 下谷交流センターがH30.3月に完成（H31.4供用予定）

【進捗状況】

- 雇用促進住宅の取得後、事業者の選定が完了し、H30年度末にサ高住が完成する予定
- 複合型居住プロジェクトについては、H30年度以降に事業者公募、H32年度末の完成を目指す

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの構築
- 健康寿命増進に向けた取組の実施
- サ高住入居者の健康状況に応じた介護相談体制の構築

【進捗状況】

- 医療・介護等の多職種連携会議（地域ケア会議）を設置し、地域包括ケアシステムを実施
- 若者から高齢者まで対象を拡充した、健康ポイントプログラムによる健康増進
- 健康維持・増進と多世代交流の拠点として健康ジムがH30.4月に開設

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 東京圏での積極的なPR活動
- お試し居住施設の充実

【進捗状況】

- 東京に移住相談窓口を設置するとともに、市内にも相談窓口を設置
- 大学OB・OGに対する移住PR活動

基礎データ

- ・人口：30,448人（H30.4月時点）
- ・H27.10 都留市版生涯活躍のまち事業を盛り込んだ都留市総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定。
- ・地方創生先行型交付金（基礎交付分・先駆的事業分）、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金（H28.第1回）、地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）を活用し、東京圏受入窓口設置、移住二 zones 把握、お試し居住、交流拠点、健康ジムの整備などを実施。
- ・地域再生推進法人については関係機関と協議を行っており、H30年度中に選定予定。



（１）活躍の場の創出

＜特徴＞・安心度・利便性の高い生活環境

- ・医療介護環境の充実、地域保健予防活動の取組
- ・生涯学習等の盛んな地域活動

Edo 80周年

白田健康活動90周年記念

佐久総合病院本院

白田中学校

総合福祉センター あいとびあ白田

下越児童館 白田文化センター

白田支所改築

看護専門学校

公室住宅下越団地

サービス付き高齢者向け住宅整備予定地 ※①

商業施設 スーパーほか

商業施設 衣料品ほか

特養 新務間園

三反田商店街

福荷山公園

白田地区移住体験・交流促進拠点施設 ※②

南宮病院

住里保育園

特養 さくら苑

新統合小学校予定地 (H35年度開校)

勝間地緑公

JR白田駅

0 100 500m

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 市営住宅及び集会室の一部を
サ高住として改修

【進捗状況】

- H29.9 改修対象の建物（左図※①）が決定
- H29.10 管理運営主体の公募開始
- H30.3 管理運営主体の決定
（H31年度より供用開始予定）

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムとの連携
- 地域医療機関との連携体制の構築

【進捗状況】

- **地域包括ケア連絡協議会への生涯活躍のまちの取組概要の事業周知**
- **佐久市臼田地区生涯活躍のまち事業化検討委員会への生涯活躍のまちの取組概要の事業周知による、医療介護等事業者との連携**

(4) 移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 市所有の建物を移住体験住宅（左図※②）に改修
- 移住希望者向けお試しツアーの実施

【進捗状況】

- H30.3 移住体験住宅利用開始
- H29.11 移住体験ツアー実施(7名参加)
H30.2 移住体験ツアー実施(10名参加)

- ・人口：99,096人（H30.4月時点）
- ・H27.10 佐久市版CCRC構想を策定、H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画認定。
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事業分）、地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H28.第1回）、地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）を活用し、移住ニーズ調査、移住促進センターの運営、お試し居住、まちづくり会社設立、交流拠点整備などを実施。
- ・地域再生推進法人はH30年度内に指定予定。



＜特徴＞ ・教えあい学びあう（誰もが先生であり生徒である）
・全てのひと・ものが生涯にわたって活躍

[illegible]

- すぎなみ地域大学との連携による公開講座（杉並区民向け講演会（H29.9）及び現地体験ツアー（H29.10）実施）
- 南伊豆町商工会による「移住・起業塾」をH29.8～9に開催
- 学びを提供する人材発掘事業展開中

- 空家バンク制度、リフォーム補助制度運用中
- サ高住建設候補地が概ね決定
- 事業予定者の決定（賃貸住宅：H30年度、サ高住：H33年度）に向けて事業性を検証中（サ高住はH34年度より供用開始予定）

- 東京都杉並区との自治体兼連携による特別養護老人ホームが開所（H30.3）
- 医療機関と介護サービス事業者等連携を図る在宅医療・介護連携推進会議をH28.4に設置（圏域、下田市・南伊豆地域）

- お試し居住事業展開中（短期・中期・長期）
- 南伊豆暮らしイメージ動画、お試し移住イメージ動画をH28年度に作成し、公式ホームページで公開中

- ・人口：8,456人（H30.4月時点）
- ・H27.8 南伊豆町版ＣＣＲＣ基本構想の取りまとめ、H28.3 南伊豆町総合戦略を策定、H28.3 南伊豆町生涯活躍のまち基本計画を策定、H29.6 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事業分）・地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H29.第１回）を活用し、事業計画策定、移住ニーズ調査、首都圏移住相談拠点整備、拠点エリア内施設整備などを実施。
- ・地域再生推進法人の指定に向けて準備中

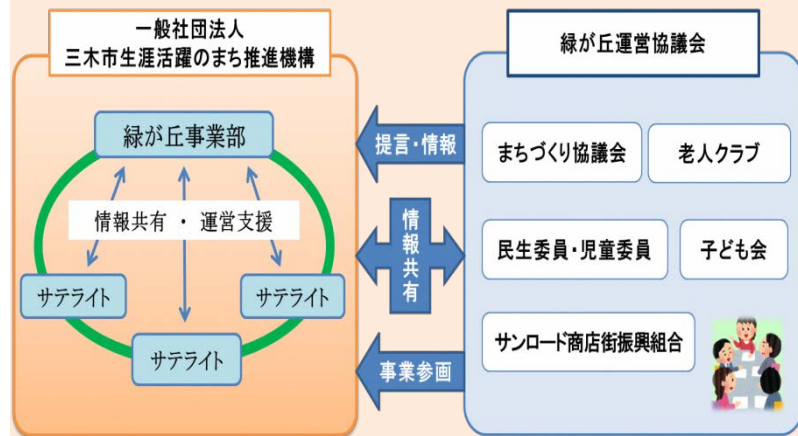
生涯活躍のまちの取組事例（兵庫県 三木市（みきし））

◆コンセプト：「多世代共生による都市近郊型のまちの再生」

市内で最も高齢化が進んでいるオールドニュータウンを対象地区として、中高年齢者がいつまでも元気に活躍できるまちづくりを目指す。さらに、若者・子育て世代の移住にも取り組み、多世代交流を促進することで、まちのにぎわいと活力を創出していく。

- ＜特徴＞
- ・郊外型の戸建て住宅団地の再生
 - ・若者・子育て世代の移住もあわせて推進

生涯活躍のまちの推進体制図（モデル地区＝緑が丘町）



緑が丘事業部兼サテライト



み・ライフフェスタ開催の様子



緑が丘運営協議会の様子

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 事業推進法人を設立、住民同士の交流の場となる「サテライト」を設置
- 高齢者大学・大学院と連携して「まちづくりの担い手」を育成

【進捗状況】

- 産官学民で構成する一般社団法人「三木市生涯活躍のまち推進機構」をH29.3設立
- 緑が丘事業部兼サテライトをH29.5に開設し、交流スペースとして機能するとともに、み・ライフフェスタなど多様なイベントの開催を計画中
- 講座内容をはじめ各活動の充実化に向けた支援を継続

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 移住・住替え希望者の受け皿となる集合住宅を整備

【進捗状況】

- 当初予定していた集合住宅の整備は計画段階から見直し。あわせて、空き地・空き家を活用した移住の仕組づくりを検討中

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 高齢者ファミリーサポートセンター、24時間医療相談ダイヤルの開設、成年後見センター事業の充実
- 健康に関するデータを管理し健康の維持・増進に向けた提案等を行う健康管理システム事業を開始

【進捗状況】

- まちの再生に向けたソフト事業について研究する「郊外型住宅団地ライフスタイル研究会」と連携し、地域の生活支援サービスの整備を推進
- H30年度の健康管理システム事業スタートに向け関係企業と調整中

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

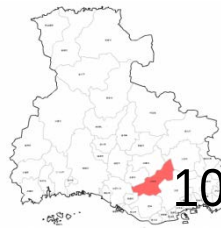
- 移住・定住プロモーション動画の制作・放映
- 若者・子育て世代の移住・定住を促進する助成制度を作成

【進捗状況】

- CM放映（H28.12～H29.2）や映画館CM（H29.3）を実施したほか、市内外のイベントを利用してPR活動を推進
- 住宅取得・リフォームを支援する助成制度を設け、案内用パンフレットを作成

基礎データ

- ・人口：78,100人（H30.3月時点）
- ・H28.3 地方版総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生推進交付金（H28.第1回）を活用し、サテライト開設、多世代交流イベント開催、PR映像作成などを実施。
- ・地域再生推進法人の指定について現時点では未定、検討を進めていく。



生涯活躍のまちの取組事例（鳥取県 南部町（なんぶちょう））

◆コンセプト：「あなたの生き方をデザインできるまち」

東京圏等からの移住者をはじめとする地域の高齢者等に対し、その方の経験や人脈を活かせる活躍フィールドを提供するとともに、必要な医療・介護を継続的に受けられる体制を整備することにより、南部町への移住を促進し、地域の課題を解決するための人材の誘致につなげる。これにより、移住者だけでなく地元住民にとっても暮らしやすいまちづくりを進める。

<特徴>

- ・地域が必要とする人材の誘致
- ・居住場所は空き家の利活用を軸とする
- ・運営主体は民間の「まちづくり会社」等を中心に進める

【事業対象の全体像】



（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 重要里地里山環境を活かした活躍フィールドの提供
- まちづくり会社に職のコーディネーターを設置

【進捗状況】

- まちづくり会社が提供する市民力レッジとしてなんぶ里山デザイン大学を開催（H28.6～H30.3末時点で35回開催、のべ参加者数696人）
- 賀野地域交流拠点開設（H30.4月）
- 農業などを通じて地域共生社会を実現するための拠点を開設（H30.5月）
- まちづくり会社が職業紹介許可取得（H28.12）し、専門職員を配置

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- まちづくり会社による空き家を活用した賃貸住宅の提供
- サ高住の整備等

【進捗状況】

- H29年度、移住者に対し6物件提供、入居者10人。（H28年度8物件18人）
- 民間事業者と就労付サ高住の整備について協議中

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの構築

【進捗状況】

- 各地域振興協議会（7ヶ所）にまちの保健室を設置済（H27年度）
- 社協、介護保険事業者と協働し、集会所等でサロンや運動指導等を実施中

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- お試し居住、移住プロモーション事業の実施

【進捗状況】

- お試し居住施設兼地域交流拠点を整備（H29.3）し、まちづくり会社が管理運営中
- 移住プロモーターを配置（H28.10）まちづくり会社と連携し都市部でのプロモーションや移住者と地域とのマッチング等を実施中

- ・人口：11,040人（H30.3月末時点）
- ・H27.9 なんぶ創生総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定、H29.3 南部町生涯活躍のまち基本計画を策定
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事業分）・地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H28.第1回）・地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）を活用し、移住に関するPR、お試し住宅、サテライト拠点の整備などを実施。
- ・地域再生推進法人に「NPO法人なんぶ里山デザイン機構（まちづくり会社）」（H29.9）及び「公益社団法人青年海外協力協会」（H29.10）を指定。行政との協働による生涯活躍のまちの運営を実施中。



生涯活躍のまちの取組事例（岡山県 奈義町（なぎちょう））

◆コンセプト：「自然とアートの『生涯“総”活躍のまち』」

- ①転入者の増加による、人口維持
- ②新しい産業や仕事の創出による町経済の活性化と、町に必要な人材の移住と町民力を合わせて町の総合力の向上を図る
- ③第2のチャレンジ世代等の地方移住の希望を実現する

＜特徴＞・町ぐるみで「タウン型」「多世代共生型」生涯活躍のまちを目指す
・地域再生推進法人を活用した官民連携の取組



しごとコンビニ
事業実施の様子



奈義町現代美術館



タウンプライド
を表す町のロゴ



ナギフトカード

(1) 活躍の場の創出

【主な取組内容】

- ワークシェアリングや就労・起業支援、後継者育成支援
- 「地域外商センター」による農産物・加工品等の販売促進
- 地域資源を活かした自然体験や一流のアートプログラムの実施
- ボランティア活動等を促進するためのインセンティブ付与

【進捗状況】

- 「まちの人事部」事業による、就労・起業支援、キャリアアップ等人材支援、「しごとコンビニ」等の実施（H29.4～）
- 町民の地域活動、健康づくり、教育・子育て、町内経済循環を促すため「ナギフトポイント制度」の実施（H30.4～）
- 地域資源を活用した起業・コミュニティビジネスの創出の場「小商いマーケットプレイス」「小商いパイロットキッチン」を整備し、「まちの営業部」を検討中

(2) 高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 空き家の流動化・活用の推進
- 分譲・賃貸など多様な居住地区整備
- 暮らしたくなる情報提供とサポート

【進捗状況】

- 空き家の利活用モデル事業を試験的に実施し、H30以降、空き家や町有財産を活用したお試し住宅の整備・多世代共生型の居住エリア・施設の整備を順次進める予定

(3) 保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの充実・強化、人材育成システムの構築
- 中心部への移動サービスの提供
- 高齢男性特有の課題解決に向けたプログラム実施および学術研究
- 演劇的手法を取り入れた介護、若い、認知症への取組

【進捗状況】

- 多世代共生型交通システムの検討（H30年度に計画策定と実証実験を予定）
- 高齢男性自らが、男性に多く見られる課題の解決に取り組む「ちょいワルじいさん」プロジェクトの実施
- 演劇的手法を取り入れて介護、若い、認知症への理解を深め、対応策を探る「若いと演劇のワークショップ」等の開催

(4) 移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 「タウンプライド」に基づく移住プロモーション活動
- 観光DMOと連携した来町の推進
- 一元的な窓口の設置・運営

【進捗状況】

- 東京に相談窓口を設置してPR活動を実施
- 移住お試しツアー開催、アートや人にフォーカスした各種プロモーション活動の展開
- 地域再生推進法人サイト等による情報発信

基礎データ
・人口：5,896人（H30.3月時点）
・H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
・地方創生加速化交付金（H28.3）、地方創生推進交付金（H28.第1回）、地方創生拠点整備交付金（H29.第1回）を活用し、マーケティング調査、基本計画策定、しごとコンビニ事業、アートのある暮らし事業などを実施。
・地域再生推進法人：「一般社団法人ナギカラ」（H28.1指定）



生涯活躍のまちの取組事例（広島県安芸太田町（あきおたちょう））

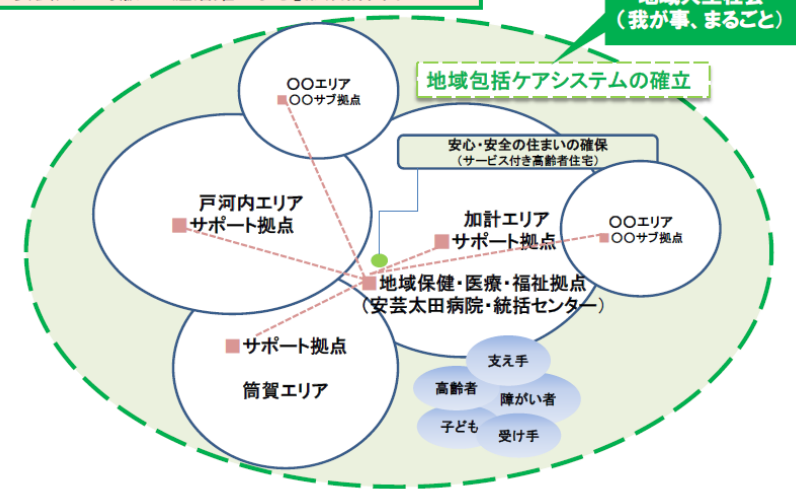
◆コンセプト：生活満足度の向上

転出抑制⇒コミュニティの維持

「出番」を創出することにより、「活躍の場」を求める田舎志向の高齢者や、社会貢献意識の高いアクティブシニア等の移住を促進するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「居場所」を創出することにより転出を抑制する。これらにより生活の基盤ともいえるコミュニティを保全する。

- <特徴> ・「出番」と「居場所」の創造
・住み慣れた地域で安心して暮らす

安芸太田町版「生涯活躍のまち」形成計画イメージ



○各エリアでは、地域の資源を活かし、生活機能の集積

○各拠点では、子ども、高齢者、障がい者等の居場所づくり・出番づくり



加計エリアサポート拠点（整備中）



戸河内エリア生活サポート拠点（運用中）

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 拠点における生涯学習機会の提供
- 森林セラピーガイド・観光ガイド等の実践に繋がる学習機会提供

【進捗状況】

- 具体的な学習プログラムの内容を検討中（H30.9までに）
- 戸河内エリアサポート拠点開設（H30.4月）
- 既存の「里山ガイド養成講座」との連携を検討中（H31.3までに）

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 安心感を得られる住まい確保
- 閉校となった校舎を活用したアクティブシニア向け賃貸住宅整備

【進捗状況】

- 空き家バンク制度を運営し、空き家の情報提供及び借手と貸手のマッチングを行っている。（H17.4～）
- 賃貸住宅整備構想を策定中（H31.3までに）

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 拠点における保健・介護・福祉の相談・サービス提供
- 拠点における保健指導
- ICTを活用した健康サポートシステムの構築

【進捗状況】

- 拠点におけるサービスを試行中（H30.4～）
- 健康をテーマとして体操教室、料理教室等試験的に実施。（H28.6～H29.3）
- ICTを活用した健康サポートシステム運用開始（H30.4～）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- 安芸太田暮らし移住アドバイザー設置
- お試し住宅の運営
- 定住フェア、ふるさと会でのPR

【進捗状況】

- 暮らし移住アドバイザー１名を設置し、移住相談や問い合わせに対応している。（H28.6～）
- お試し住宅を整備し、受入を行っている。（H26.7～）
- 首都圏等で行われる定住フェアに随時出展。（H24.4～）

基礎データ

- ・人口：6,365人（H30.4月時点）
- ・H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.3 安芸太田町版生涯活躍のまち構想を策定
- ・H29.3 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生拠点整備交付金（H28.第２回）を活用し、戸河内エリアサポート拠点を整備。
- ・平成29年地方創生推進交付金（H29第１回）を活用し、加計エリアサポート拠点の整備に着手
- ・地域再生推進法人の指定状況（H29.8指定の事務取扱要綱制定 H30.1（公社）青年海外協力協会を指定）



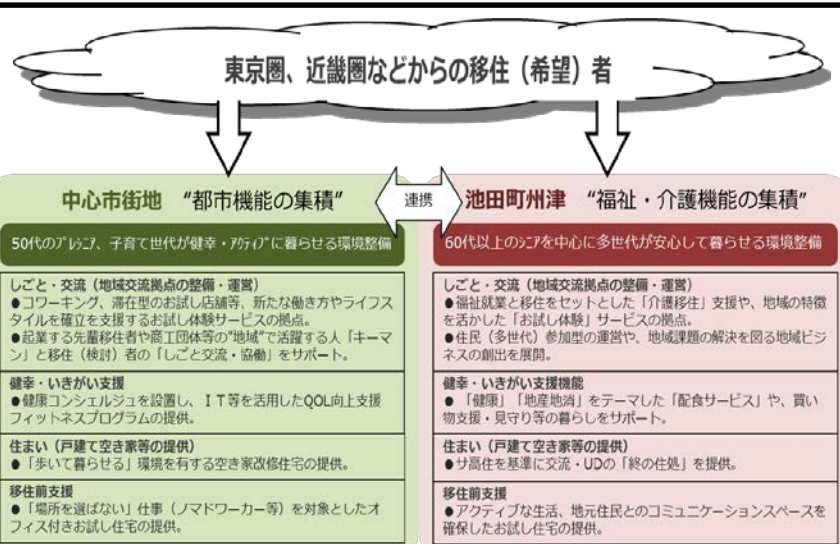
生涯活躍のまちの取組事例（徳島県 三好市（みよし））

◆コンセプト：“三方よし”で人生・生活の質（QOL）向上

2拠点エリアでの、移住促進（移住者の受け入れ）を通じて

- ①「移住希望者」の自分らしいライフスタイル実現を支援！
- ②移住希望者を「受け入れる地域」が抱える課題を解決！
- ③「三好市全体」の地域力向上、持続可能なまちづくりを実現！

- ＜特徴＞
- ・「お試しサービス」充実
 - ・「しごと交流」の促進
 - ・「空き家」の再生活用



地域交流拠点施設「真鍋屋」
（中心市街地）

お試し住宅 マチの棟
（中心市街地）

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- ミッションターン（経験豊富な知識や技能等を有する地域活躍人材の発掘・誘致）
- ワンストップ支援窓口機能の設置
- 大学等と連携した、起業・創業支援講座の実施

【進捗状況】

- 高度人材の獲得・活用を目的に地元企業向け勉強会や、東京で人材募集等に係る移住者向け説明会を開催し、双方のマッチングにかかる仕組みづくりを検討（H29.8～）
- 地域交流拠点内に設置（中心市街地：H30年度（拠点はH30.6月から供用開始）、池田町州津：H31年度予定）
- 起業・創業支援プログラムについて関係機関と検討中

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 戸建中古住宅の改修・マッチング支援
- サ高住の整備等

【進捗状況】

- 改修・マッチングスキームの構築（H29年度）、試行的実施（H30年度）
- 建設候補地及び戸建ての条件等を検討中（H31年度整備予定）

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの構築
- 「健康」支援サービスの構築

【進捗状況】

- 「地域包括ケア会議」で「優先支援すべき」内容等を検討中
- 健康・交流プログラムや実施体制等に関する計画策定（H29年度）、試行的実施（H30年度）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- お試し移住支援サービスの実施

【進捗状況】

- お試し住宅3棟整備・4世帯利用可能、コンシェルジュによる利用促進予定（H30年度）
- 体験プログラム構築及び大都市圏における連携先構築（H29年度～）

基礎データ

- ・人口：26,672人（H30.3月時点）
- ・H28.3 地方版総合戦略を策定、H28.8 三好市版CCRC構想を策定、H28.11 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・①地方創生加速化交付金/②地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）/③地方創生推進交付金（H29.第1回）
（①事業実施体制等構築/②地域交流拠点施設・お試し住宅整備/③受入体制整備、受入の試行的実施）
- ・地域再生推進法人の指定状況 ①名称：社会福祉法人池田博愛会 指定時点：H29.2 役割：事業実施主体 / ②名称：一般社団法人三好みらい創造推進協議会 指定時期：H29.12 役割：事業実施主体



◆コンセプト：「介護医療システム維持とアクティブシニアの活躍の場の醸成を通じた移住施策」

首都圏等のアクティブシニアの北九州市への新しい人の流れを作り、定住・移住の積極的な推進と地域経済の活性化を図る。

- ＜特徴＞
- ・官民一体となった定住・移住促進施策の実施
 - ・介護ロボット導入による介護・医療体制の改良
 - ・シニア・ハローワークとの連携による人材還流促進

（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- シニア・ハローワークと連携、首都圏等の経験豊富な50歳以上人材と市内企業のマッチング
- いきがい活動ステーション連携事業

【進捗状況】

- 地元企業への延べ就職者数 3件
- セカンドキャリア希望者（登録者）23名
- いきがい活動ステーションから首都圏に向けた情報発信

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 北九州市高齢者・障害者住まい探しの協力店紹介制度
- 住むなら北九州 移住推進事業

【進捗状況】

- H28.5月開始、協力店 79店
- H29年度認定件数 217件

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 介護ロボットの実証実装
- 認知症支援・介護予防センター運営事業

【進捗状況】

- 介護ロボット等の実証機器数や実証結果に基づく開発・改良件数：25件
- 認知症支援・介護予防センターを開設し、常設の認知症カフェをモデル設置

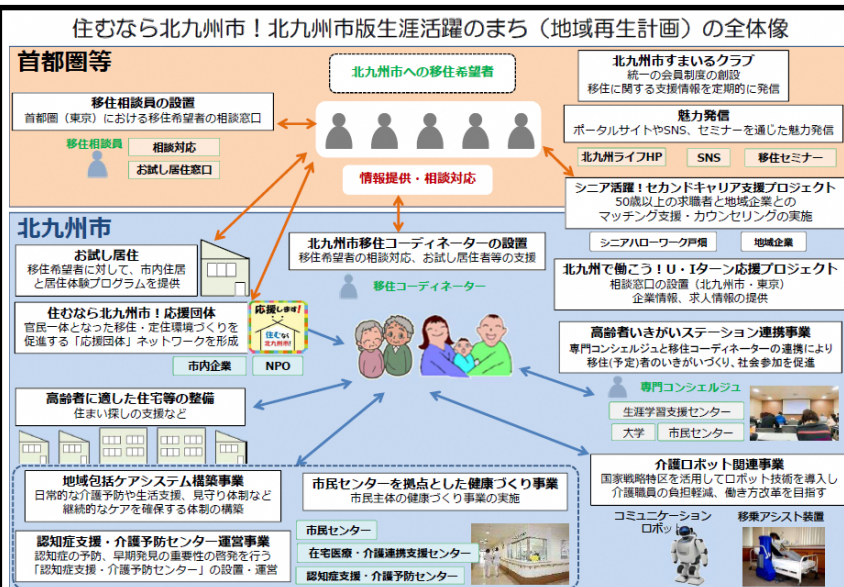
（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- お試し居住の実施
- 北九州市すまいるクラブ（移住希望者会員登録制度）
- 移住相談員・移住コーディネーター
- 住むなら北九州市！応援団体登録制度
- 広報関係

【進捗状況】

- H28年度 11組20名、H29年度 20組41名
- 会員数：360人
- 移住相談員1名、移住コーディネーター2名設置
- 登録団体数：55団体
- HP、SNS等を活用した情報発信、雑誌掲載等



お試し居住住居



モデルエリア洞南地区での説明会

- ・人口：955,967人（H30.3月時点）
- ・H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.12 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生先行型交付金（先駆的事业分）・地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金（H28.第2回）を活用し、協議会運営、お試し居住、シニアハローワーク連携事業、介護ロボット関連事業などを実施。
- ・モデルエリア6地区のうち、洞南地区において、H28.12.16に説明会を開催



生涯活躍のまちの取組事例（大分県 別府市（べっぷし））

◆コンセプト：「新たな誇りを創生するまちづくり」

本市では、温泉や大学などの「生涯活躍のまち」を形成する地域資源に恵まれており、それぞれの役割を十分に果たせるよう、関係機関と連携して取組を進め、日本全国から癒しを求める人々を本市に誘引し、本市の新たな誇りを創生するまちづくりを行う。

<特徴>

- ・3つの大学と九州大学別府病院などの2つの大学施設のあるまち
- ・社会福祉法人太陽の家を中心とした障がい者に優しいまち
- ・海・山・温泉・医療等の資源や留学生等の人的資源のあるまち

九州大学病院別府病院の敷地を活用した健康にぎわいイベント



スロー・ジョギング

ヨガ

ノルディック・ウォーク



お試し移住施設「フロムーン別府ハウス」完成（H29.12）



（１）活躍の場の創出

【主な取組内容】

- 健康でアクティブな生活
- ・健康にぎわい拠点形成
- 生涯学習
- 就労や社会参加支援

【進捗状況】

- 九州大学別府病院の敷地内を活用した健康にぎわいイベント（試行的取組）実施。
- 九大ウォーキングコースの案内看板設置
- 湯けむり歴史講座の実施
- 温泉コンシェルジュ人材育成支援事業
- シニア世代向けプチ就職相談会の実施

（２）高齢者向け住宅等の整備

【主な取組内容】

- 民間主導による高齢者向け住宅の整備
- 空き家を活用した住まいの提供支援

【進捗状況】

- サービス付き高齢者向け住宅：11施設、有料老人ホーム：40施設（H29.11現在）
- 空き家バンク制度（所有者と利用希望者のマッチング）の構築
- 在宅高齢者住宅改造助成事業 等

（３）保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

【主な取組内容】

- 地域包括ケアシステムの構築
- ・在宅医療と介護の連携
- ・災害時助け合いネットワーク体制の構築
- ・新規サロンの開設推進

【進捗状況】

- 薬局に関する資源マップ完成（医療・介護の登録事業者のみ閲覧可能）
- 県下東部圏域市町連携取組研修会開催
- 防災対策検討委員会の発足
- 新規開設サロン（住民主体サロン 17カ所、週1元気アップ体操開催サロン 13カ所）

（４）移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

【主な取組内容】

- お試し居住、移住プロモーション事業の実施

【進捗状況】

- 「フロムーン別府ハウス」利用募集開始
- 「ハーフ住民登録クラブ」会員制度構築
- 移住フェアの実施（東京2回、福岡1回）
- 別府の魅力の情報発信内容の充実のため、地域の情報を収集中。

基礎データ

- ・人口：117,698人（H30.3月末時点）
- ・H27.10 別府市版CCRC構想を策定、H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.8.30 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生先行型交付金（タイプⅠ）事業実施に向けた調査研究を行い、H29.4.1 機構改革により担当係を設立。関係各課及び関係団体との連携調整開始。
- ・地域再生推進法人の指定状況（市全域を担当する推進法人とエリアごとの運営推進機能を担う事業主体を随時選定予定）

